

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	高山市立北小学校		
実 施 日	平成25年11月26日 (火)		
実 施 概 要	・北地区長寿会の方々の指導により、北小学校3年生児童及び保護者が飛騨の正月文化の一つである「花もちづくり」を体験する。 ・長寿会の方と一緒に給食を食べたり、昔のことを聞いたりして、地域のお年寄りと交流をする。		
実 施 内 容 )	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他 公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	約 100 人	計 約 134 人
	地 域 関 係 者	34 人	
実 施 状 況	・高山市北地区の長寿会の方が、花もちの台となる白樺の切り株や枝を、事前に準備をする。 ・花もちづくりの当日、長寿会の男性の方は枝切りや花もちづくりの指導をする。女性の方は、枝に巻きつきやすいように餅を細長く切る。 ・3年生(児童数114名)は、4～5名のグループに分かれ、そこに保護者が入って、長寿会の方々の指導者のもと、枝に餅を付けていく。子どもと保護者がいっしょに作った花もちは校内の各教室に飾るとともに、総合学習でお世話になっている方にプレゼントする。 ・花もちづくりの前には、長寿会の方と一緒に給食を食べたり、3年生の合唱を披露したりするなど、交流をする。		
成果及び課題	<成果、感想> ・高山市内でも核家族化が進む中、お年寄りともどもたちが一緒に給食を食べながら昔と今の違いについての話をすることができ、また飛騨の伝統文化の花もちづくりを学ぶことができ、地域のお年寄りとの良い交流をすることができた。 ・長寿会の方の感想：「子どもたちと触れ合うことができ、楽しい交流ができた。」 ・保護者の方の感想：「今では少なくなった飛騨の年末から正月にかけての文化(花もちづくり)を味わうことができ、貴重な経験であった。」 <課題> ・長寿会の代表の方に、花もちの土台となる株や枝の準備をお願いしており、もし代表の方が変わった場合等の対応等について、今後の方針等について考える必要がある。		